

あなたのお店を拝見

農業機械と自動車を両輪に

「サービス」が商いの基本

有限会社本富技術サービス

平成2年8月8日に農機販売店を創業し、損得抜きでサービスを提供し、続け信用を獲得してきた、有限会社本富技術サービス(熊本県南区奥古閑町2884-4 代表取締役 本富光義氏)を訪ねました。

本富(もとみ) 技術 サービスは、熊本駅から車で約30分、島原湾まで約3キロほどの位置で、周囲一面、田畑が広がる中の一画にあります。



代表取締役 本富光義氏

社長の本富光義氏は、

農協で主に自動車と農業機械の整備に就いていました。農業機械整備については、当時研修会もほとんどなく、機械を分解したときに手順がすぐわかる独自のパーツリストを作成するなど工夫をして修理を覚え、農機整備士などの資格を取得するなど、かなりの苦労と努力をされてきました。

農協での仕事は順調でしたが、改めて周りを見渡すと、当時の農協の仕事への取り組み方や顧客対応に自分の思いとの違いを感じ、独立することを考えました。奥様に相談したところ、農機店を始めることに迷いなく理解を示され、独立に向けてしっかりと後押しをしてくれたそうです。しかし開業するときには十分な資金もなく自宅敷地を店舗兼整備工場として夫婦2人で、借入も返済できる最小限に抑えオープン

の準備に入りました。

平成2年「八月八日」

末広りの吉日を選んで

オープン。

しかし内心は知り合い

も少ない地での開業で、本富にお客がくるのか、もし商売が上手くいかなかったら自転車の出張パンク修理をやるのかなど、さまざまな思いがよぎる船出でした。



事務所前で、社長ご夫妻

開業してからも地元の人との距離を縮める努力をされ、一人一人のお客様を大事にし、誠実に向

き合い、一生懸命仕事に取り組んでいくなかで、やがて地元の人とのつながりが強まり信用を獲得していききました。

また、8月8日にオープンするまで縁起やお日柄を気に掛ける細やかな気遣いは、機械の納品日

を大安にすることを提案し喜ばれていること。普段の整備においても、顧客が修理の内容や費用について納得してもらえ

よう、事前にしっかりと説明をするだけでなく、時には機械を分解し、部品の写真を撮り説明して、工賃等の費用も含め納得してもらってから修理をすることが、特定

のメーカーに限定せず、顧客の求めるメーカーの機械を販売し、修理を行

っていることなど、でき

る限り顧客の立場で対応していること等にも細やかな気遣いは表れており、これは本富社長の人柄でもあり、独立してやりたかったことを実現した形でもあるようです。

社名に「サービス」と入っています。これは農家のために、時には金銭

損得を考えず、きめ細やかなサービス、お世話をしたいという思いを社名に入れたかったとのこ

と。

実際に農作業で困って

いる方のサポートをできる範囲で日常業務のよう

に行っているそうです。

このような仕事ぶりでは、なかなか十分な利益

を上げるのは難しく、「毎

日忙しくて思っただほど

儲けがない」と、本富社

長は話していましたが、奥

様やご子息の敬氏は「売

上が同じなら、工賃を上

げてお客を減らし暇な時

間を増やすより、利益は

そこそこでも忙しい方が

いい」と話されています。

こうしたさまざまな地道な努力や、人柄が周りに

から高く評価され、従来

の顧客が新規客を紹介し

てくれる循環が生まれ、

新規顧客を開拓するため

に、飛び込み営業などす

ることなく、新たな顧客

が事務所を訪ねてくるそ

うです。

本富社長は機械を加工

することも好きで、以前

は農家の要望に応じて、

機械を加工・改造して、

使やすさを向上させた

りすることもあったそう

です。また古い農機で交



整備工場 自動車の整備

の顧客が新規客を紹介し

植機他、消毒機材等の小物が売れているそう

です。

本富社長は5人のお

孫さんがいます。皆スポーツが好きで、休日は野球やバレー、テニス、バスケをするお孫さんたちの試合を観に行くことが多く、その合間に趣味の魚つりに行くのが楽しみ

になっていくそうです。

また現在64歳になりま

したが、独立して仕事を

しているからこそ、この

歳になっても仕事ができ

る。そのことに感謝しな

がら、少しでも長く仕事

を続けていきたい。会社

の経営は少しづつご子息

やなく、ただの部品交換

屋だ」と話されています。

顧客にとっては部品が

なければ新たに農機を購

入しなければなりません

が、新しい農機を購入す

る資金を持たない中小零

細農家にとっては、今使

っている農機を使い続け

たいと考えている人も多

いと思われま

す。そういったニーズに

応えることも経費を抑え農

業を続けていくためには

大切なことかもしれませ

ん。

その敬氏は、機械いじ

りが好きで、自らの進路

については将来を考え、

自動車整備に関わる高

校、専門学校に通い基礎

からしっかりと学び、現在

では意思の強さと誠実さ

で頼りになる2代目にな

りました。

敬氏は地元で育ち、地

元の友人知人も多く、そ

のつながりで農家で世代

交代した人とも同世代と

いう気楽さもあり話も合

わることが少なくないよう

です。

また敬氏は同世代が多

く集まる地元商工会議所

の青年部の活動に参加

し、地域との交流を深め

ています。しかし商協で

は同世代がいらないこと

もあり、積極的に組合に関

わることは少ないよう

です。

今後の組合活動におい

て、後継者であるやる気

のある若手が参加できる

ような取組も必要で、特

に青年部の活性化は若手

の活力を活かすために大

見込みないかもしれない

事な事業であるように思

われます。

本富社長は経営面では

今後、これ以上の売上は

見込めないかもしれない

修理も機械が高度になっ

ていくと先細りの可能性

もあり危機感を持ってい

ます。それでも商売の基

本は農業機械であり、そ

の流れて車の修理もある

というスタンスを忘れず

に、これからも信用を大

切に仕事を続けていかれ

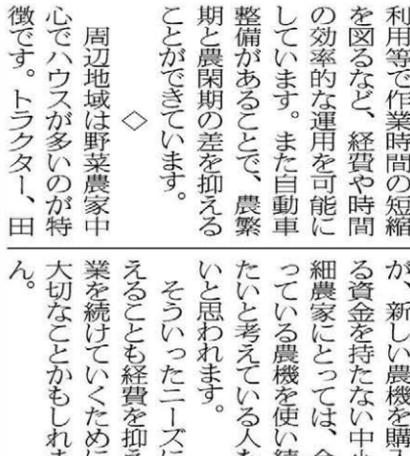
ると話されていました。

若き後継者のいる本富

技術サービスの今後す

ますの成長、発展に期待

します。



整備工場 農業機械の整備



本富社長の後継 本富敬氏

商売の地盤を固め、次の世代へ

よと話されていました。初代から見ると、そのように感じることも多いことでしょう。しかし、これから大きく変わろうとしている農業、農業機械業界に対応していくには、敬氏も決して安穩とははいられません。

また敬氏は同世代が多から恩返しをしていきたい」と話されています。

最近購買が組合加入のメリットと感じない人が増えている状況の中、組合は購買だけのためにあるわけではなく、他にもできることを伝え、活用してもらうことが大事になっていくと思

本富社長は経営面では今後、これ以上の売上は見込めないかもしれない修理も機械が高度になっていくと先細りの可能性もあり危機感を持っています。それでも商売の基本は農業機械であり、その流れて車の修理もあるというスタンスを忘れずに、これからも信用を大切に仕事を続けていかれると話されていました。

若き後継者のいる本富技術サービスの今後ますますの成長、発展に期待します。